

第162期 中間株主通信

2023年4月1日 »
2023年9月30日



美濃窯業株式会社
MINO CERAMIC CO.,LTD.

証券コード：5356

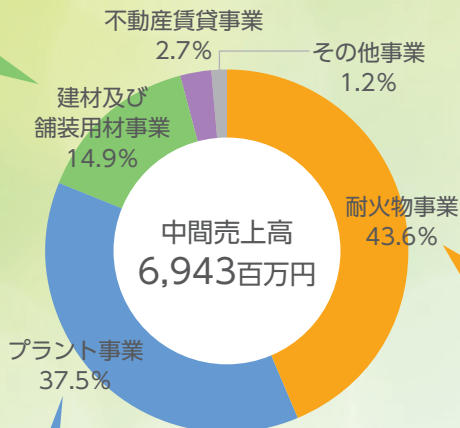
美濃窯業グループの使命

セラミックスを源流に、独自・多様な技術を磨き、社会の発展に貢献する。

一味違う強い特徴を持つ、質の高い企業グループを目指す。

事業紹介

道路用材及び加工製品の
製造・販売・施工



耐火煉瓦、不定形耐火物、
ニューセラミックスの製造・販売



工業炉・自動化設備など、
総合プラントの設計・施工





ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループ第162期第2四半期連結累計期間（2023年4月1日から2023年9月30日まで）が終了いたしましたので、ここに事業の概況並びに第2四半期決算の内容につきまして、ご報告申し上げます。

代表取締役社長

太田 滋 俊



事業概況

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類への移行や経済活動の再開に伴う国内需要の底堅さを背景に景気は緩やかに回復しましたが、海外経済はインフレ抑制のための金融引き締めの継続、及び世界的な半導体関連需要の低迷による景気減速懸念により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、耐火物事業については、主力のセメント向けについてセメントの国内生産量が14か月連続で前年同月を下回った影響もあり、原燃料価格上昇分の販売価格への転嫁、市場シェアの拡大に取り組んだものの、売上は微減となりました。利益面では、セメント向けが落ち込んだものの、設備改善や生産性の向上により、前年同四半期を上回る結果となりました。

プラント事業については、設備部門は半導体関連需要の低迷により前年度増加した顧客の設備投資が一段落し、売上が

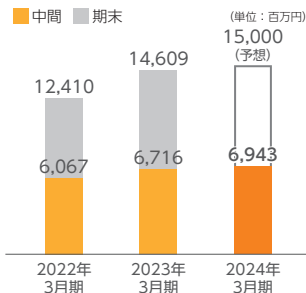
減少したものの、工事部門が順調に推移し、セグメント全体での売上高は前年同四半期を上回る結果となりました。一方、利益面では売上内容の構成差から、前年同四半期を下回る結果となりました。

建材及び舗装用材事業については、主要顧客の一つである鉄道各社の業績の回復に伴う設備投資の増加及び各種製品の価格改定により、前年同四半期比で売上高、利益ともに増加しました。

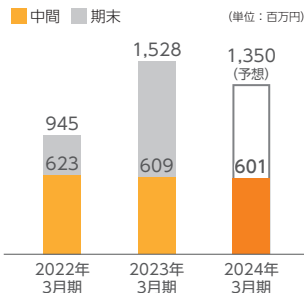
不動産賃貸事業については、売上高は前年同四半期を若干上回る結果となったものの、修繕費の増加の影響もあり、利益面では前年同四半期を若干下回る結果となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高6,943百万円（前年同四半期比3.4%増）、営業利益541百万円（前年同四半期比2.7%減）、経常利益601百万円（前年同四半期比1.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益410百万円（前年同四半期比2.4%増）となりました。

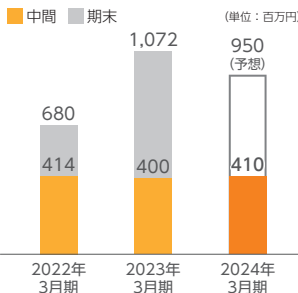
売上高



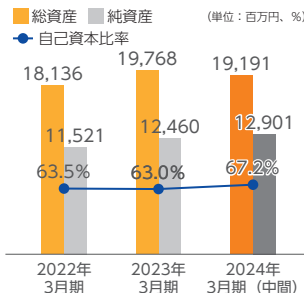
経常利益



親会社株主に帰属する四半期 (当期) 純利益



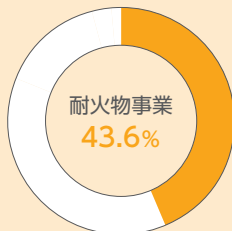
総資産／純資産／自己資本比率



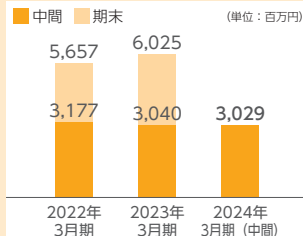


セグメント別の概況

構成比



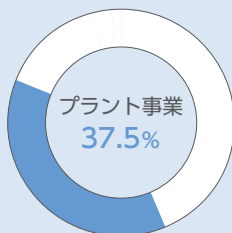
売上高



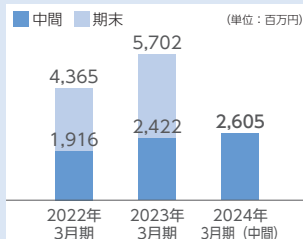
耐火物需要は低迷するも、販売価格の改定並びに生産性の向上等により増益

耐火物事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,029百万円（前年同四半期比0.4%減）、セグメント利益は101百万円（前年同四半期比11.7%増）となりました。

構成比



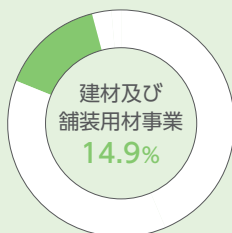
売上高



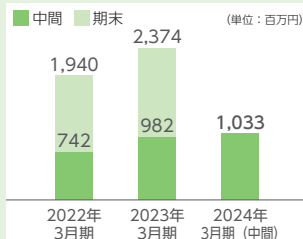
工事部門は順調に推移し全体では増収 売上内容の構成差から減益

プラント事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,605百万円（前年同四半期比7.5%増）、セグメント利益は280百万円（前年同四半期比16.4%減）となりました。

構成比



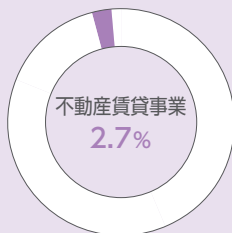
売上高



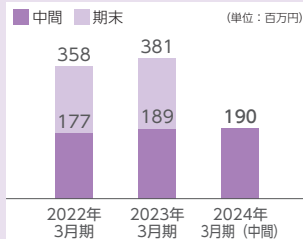
鉄道各社向けの売上回復 各種製品の価格改定により増収

建材及び舗装用材事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,033百万円（前年同四半期比5.2%増）、セグメント利益は46百万円（前年同四半期比100.4%増）となりました。

構成比



売上高



安定した不動産収入

不動産賃貸事業につきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は190百万円（前年同四半期比0.6%増）、セグメント利益は92百万円（前年同四半期比0.5%減）となりました。

※その他事業につきましては、売上高は83百万円（前年同四半期比3.8%増）、セグメント利益は16百万円（前年同四半期比5.4%増）となりました。



次世代省エネルギー型工業炉の開発

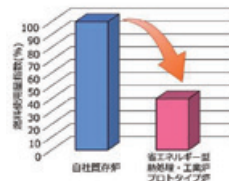
－ 40～70%の燃料使用量／CO₂発生量削減を実証 －

当社は、カーボンニュートラル社会の実現に貢献すべく、主力製品の一つである工業炉^{*1}の省エネルギー化技術の開発について、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）事業から「未利用熱エネルギーの革新的活用技術研究開発」（以下、未利用熱PJ）の助成を受けて取り組んで参りました。

未利用熱PJの集大成として、省エネルギー型熱処理・工業炉のプロトタイプ炉を設計・製造し、省エネ性能の評価を実施した結果、自社製既存炉と比較して約40～70%の燃料使用量／CO₂発生量削減^{*2}が可能であることを実証いたしました。



省エネルギー型熱処理・工業炉
（プロトタイプ、有効容積1.3m³）



プロトタイプ炉／自社既存炉の比較による省エネ性能検証結果

● 次世代省エネルギー炉の特徴

1. 断熱材に超多孔体を使用

未利用熱PJにて、国立研究開発法人産業技術総合研究所と気孔率85%、熱伝導率0.25W／m・Kと軽量、高断熱でありながら圧縮強度10MPa以上の強度を持つ超多孔体を共同開発し、プロトタイプ炉の炉材として採用いたしました。

軽量、高断熱な超多孔体を使用することで炉外への無駄な放熱を防ぎ、省エネルギー化を実現します。

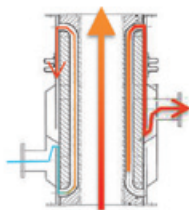
■ 性能評価

プロトタイプ炉にて種々の温度プログラムを用いて1650℃までの加熱及び室温までの冷却を実施し、その際の燃料（LPG）使用量を測定いたしました。その結果、自社製既存炉と比較して約40～70%の燃料使用量／CO₂発生量削減が可能であることを実証いたしました。



高効率熱交換器

（特徴：2重筒＋多筒管構造、熱回収効率自社従来の3倍）



2. リジェネレイティブバーナーによる排熱回収

東京ガスエンジニアリングソリューションズ株式会社（TGES）の協力の下、同社製高効率リジェネレイティブバーナーをプロトタイプ炉に実装いたしました。リジェネレイティブバーナーは廃熱を回収し、再利用する機構を持つバーナーでプロトタイプ炉の最適な熱効率を実現します。

■ 今後の予定

プロトタイプ炉の耐久性テストや実製品の焼成テストを行いながら、改良・改造を経て、省エネルギー型熱処理・工業炉の早期製品化を進めて参ります。

さらに、当社で既に開発している高効率熱交換器及び水素燃焼バーナーとの組み合わせを検討し、カーボンニュートラル社会の実現に貢献して参ります。



水素燃焼バーナー

（特徴：広い燃焼範囲、高い燃焼空気比、均一な火炎温度）



用語解説

^{*1} 工業炉

材料を目的の温度で溶解・加熱・熱処理する工業用装置の総称です。

^{*2} 約40～70%の燃料使用量／CO₂発生量削減

焼成温度、焼成カーブ、被処理物重量等により燃料使用量／CO₂発生量削減の効果は変動します。



会社情報／株式情報 (2023年9月30日現在)

会社概要

会社名	美濃窯業株式会社 MINO CERAMIC CO.,LTD.
設立	1918 (大正7) 年8月14日
資本金	8億7,700万円
従業員数	連結347名 (単体278名)
事業内容	耐火物及び耐火材料の製造販売 工業窯炉及び付帯品の設計 製作・施工・販売 熱処理・自動化プラントの設計・建設 建築材料及び舗装用材の製造・施工・販売 工業用セラミックス製品の製造販売
本社	本社：岐阜県瑞浪市寺河戸町719番地 本社事務所：愛知県名古屋市中村区名駅南1丁目17番28号
グループ会社	美州興産株式会社 岩佐機械工業株式会社

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 剰余金の配当の基準日	毎年6月 (議決権の基準日 毎年3月31日) 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の 本店及び全国各支店で行っております。

美濃窯業株式会社

(お問い合わせ先)
愛知県名古屋市中村区名駅南1丁目17番28号
052-551-9221

役員

代表取締役社長	太田 滋 俊
取締役専務執行役員	中島 正 也
取締役常務執行役員	長谷川 郁 夫
取締役常務執行役員	石川 豊
社外取締役	大島 崇 文
社外取締役	佐藤 誠
取締役監査等委員	山田 俊彦
社外取締役監査等委員	澁谷 英 司
社外取締役監査等委員	小林 宏 明

株式の状況

発行可能株式総数	31,960,000株
発行済株式の総数	10,636,140株 (自己株式2,273,688株を除く)
単元株式数	100株
株主数	2,070名

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社に申出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社に申出ください。

公告の方法 電子公告 (当社ホームページに掲載)

ホームページアドレス
<https://www.mino-ceramic.co.jp/>

※ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

